

第2章 郵政事業のユニバーサルサービスの確保方策

第2節 郵政事業のユニバーサルサービスの確保方策

3 中長期的に検討すべき確保方策の方向性

(1) ユニバーサルサービスコストの算定手法の検証(継続的算定も含む)

【答申(抄)】

(前略)また、今回は、試算を行った初年度であり、その算定手法には更なる検証が求められるとともに、今後もユニバーサルサービスコストの算定を継続し、国民・利用者はもとより、関係する事業者等に対しても広く、分かりやすく説明していくことが適当である。

なお、その際には、次の観点を踏まえながら、ユニバーサルサービスコスト算定の意義、必要性及び活用可能性等を含め、ユニバーサルサービスコストの算定手法の検証の中で検討していくことが必要である。(以下略)



【日本郵便(株)の意見】

中・長期的な視点においては、ユニバーサルサービスコストの算定手法の検証、郵便料金、サービスレベルの在り方、政策的な低廉料金サービス等に対するコスト負担の在り方などを継続的に検討することが示されています。これらは、郵政事業のユニバーサルサービスを将来にわたって安定的、継続的に提供していくに当たり重要な事項と考えます。

- ① ユニバーサルサービスコストの算定については、郵便サービスと窓口サービスの性質が異なる点や事情変更等にも配慮いただくよう、また、結果の示し方についても、国民、お客さまにより分かりやすく、誤解を招かないよう、改善・進化させていただくことを要望いたします。(以下略)